

中央監視業務特記仕様書

この業務は、埼玉県立循環器・呼吸器病センターの安全で快適な環境を確保し、かつ、医療業務の円滑な運営を図るための中央監視業務である。

よって、この仕様書は中央監視業務の概要を示すものであり、現場の状況に応じ、ここに記載されていない細部の事項及び施設管理上甲から依頼された事項についても、誠意を持って行うものとする。

1 業務場所

(1) 埼玉県熊谷市板井 1 6 9 6

埼玉県立循環器・呼吸器病センター

(2) 埼玉県熊谷市板井 1 6 5 9-1、1 6 5 9、1 6 6 0-1

職員宿舎

(3) 埼玉県熊谷市末広 3-1-10、3-1-9、2-29

病院長・副病院長級宿舎及び熊谷宿舎（受水槽、高置水槽清掃のみ。）

2 施設の概要

(1) 敷地面積

病院及び宿舎 9 1, 6 6 3. 0 1 m²

(2) 延床面積

4 9, 8 9 9. 2 5 m²

(3) 主な建物の延床面積

本館棟等	S R C 造地上 5 階地下 1 階建	1 3, 0 3 2. 6 2 m ²
エネルギー棟	R C 造地上 2 階建	1, 0 6 9. 8 1 m ²
治療棟	R C 造地上 3 階地下 1 階建	4, 8 6 3. 5 3 m ²
A 病棟	R C 造地上 4 階建	4, 5 4 2. 5 5 m ²
新館棟	S 造地上 4 階建	1 4, 3 1 2. 8 3 m ²
調理・洗濯棟	S 造地上 1 階建	1, 0 7 5. 9 9 m ²
R I リニアック棟	R C 造地上 1 階建	7 6 1. 0 6 m ²
汚水処理棟	R C 造地上 2 階地下 1 階建	2 6 8. 3 4 m ²
実験検査棟	R C 造地上 2 階建	4 2 5. 0 0 m ²

3 主な業務内容

エネルギー棟中央監視室に 2 4 時間体制で常駐し、下記業務場所（個人的財産は除く。）の建築物、電気設備、空調設備、衛生設備及び機械設備等の運転操作を含む、巡視点検、維持、整備、管理、不具合対応、及び修繕等

(1) 昼間の業務

ア 各設備の運転操作及び監視（全施設の巡視点検含む。）

イ 各設備の維持管理（主な設備の概要：別紙 1）

（各設備の管理基準：別紙 2-1）

（ボイラ日常点検：別紙 2-2）

ウ 不具合対応、小修繕及び小工事

例：電気配管配線、コンセント等の器具の新設、交換、機器の設置及び建具の調整修理など

- エ 検針立会（電気、ガス、水道、燃料など）
- オ 受入立会（燃料、医療ガスなど）
- カ 小メーター検針
- キ 保守管理委託業務の協力
- ク 専門業者が行う修繕工事に伴う協力
- ケ 各種点検、測定（別紙３）
- コ ボイラ等清掃業務（別紙４）
- サ 冷却塔清掃業務（別紙５）
- シ ラックリフター点検（別紙６）
- ス 地下タンク微加圧検査（別紙７）
- セ 受水槽等清掃業務（別紙８）
- ソ 吸収式冷温水発生器の冷暖房切替業務（別紙９）
- タ 自然災害等非常時・緊急時の対応及び応急処置
- チ 火災発生時の消火及び避難等の協力

（２）夜間の業務

- ア 各設備の運転操作及び監視
- イ 緊急時の対応及び応急処置
- ウ 火災発生時の消火及び避難等の協力

４ 業務の基準

業務の実施に当たっては、関係法令の定めを厳守するとともに、当センターの医療業務の円滑な運営に支障を来すことのないよう、機器設備を熟知し、運営状況に対する影響箇所を調査して作業を計画し、故障の早期発見、事故の未然防止に努めること。

５ 人員の確保及び有資格者

（１）乙は、業務上必要な人員を配置し、責任者を置かなければならない。

- ア 電気工事を行える者
- イ 配管工事を行える者
- ウ その他、必要と思われる技術をもった者

（２）配置すべき有資格者

- ア 電気主任技術者（３種以上）
- イ ボイラ技士（２級以上）
- ウ 公害防止管理者（大気４種以上：２名以上専任すること）
- エ 公害防止管理者（水質４種以上）
- オ 高圧ガス製造保安責任者（３冷以上）
- カ 電気工事士
- キ 危険物取扱者（４類）
- ク 消防設備士（１，３，４種）
- ケ エネルギー管理員
- コ 配管工事实務経験２年以上の者
- サ 空調機器等の整備実務経験２年以上の者
- シ 延床面積１０，０００㎡以上の建物、設備保守実務経験２年以上の者

ス その他、必要と思われる資格者

(3) 業務員は、埼玉県立循環器・呼吸器病センターの専任とする。

- 6 業務員は、交替制により日曜祭日に関係なく、24時間体制で設備等の管理業務に必要な資格を有して、設備の不具合に対応する習熟度の高い業務員を配置すること。安全管理上、休憩中の者を含め、下記の表のとおり配置すること。

時 間 区 分	人 数	業 務 内 容
8:30～17:15	7名以上	保守・運転管理業務、点検整備業務
17:15～翌8:30	3名以上	運転監視業務、緊急時の保守を含む

- 7 作業計画予定表、作業実施報告書及び各機器運転管理・操作方法

乙は、監督員と協議の上、作業計画予定表を前月の25日までに提出し承認を得ること。作業実施後は、速やかに報告書を作成し監督員に提出すること。また、実施後は、各機器運転管理・操作方法を作成整理すること。

- 8 業務日誌

乙は、甲が定めた様式による日誌及び点検表を作成、記録後これを監督員に提出すること。

- 9 一般的な負担区分

(1) 業務遂行のために乙が使用する、電気、ガス、水道、当センターの業務に関する電話使用料及び備品は、甲の負担とする。

(2) 小修繕及び小工事に使用する主な材料（部品、雑材料）は、甲の負担とする。

例：電気配線工事において、電線管、電線、電線管付属品は甲の負担とし、圧着端子、テープ及びビス等は、乙の負担とする。

(3) 電池及び管球については、甲の負担とする。

(4) 業務に必要な工具類、計測機器、薬品類及び用紙類は、乙の負担とする。

(5) グリス、ヒューズ、パッキン、ビス、釘、テープ及び潤滑油等の消耗品は、原則として乙の負担とする。

- 10 その他

(1) 乙は、各機械室及び電気室にある機器類の清掃と修繕用材料の保管管理を行わなければならない。

(2) 機器設置業者から取扱説明を受けること。その際、詳細に記録を取り、機器ごとに機器名称、内容、説明者及び記録作成者を記入した記録簿を作成し、管財担当に提出すること。（第三者にも機器取扱いがわかるように記録すること。）また設備の構造を熟慮し、効率化や省エネ等の技術的な提案をすること。

(3) 日誌等の記録簿様式は、乙が作成し、監督員の承認を受けること。

(4) ボイラ及びクーリングタワーの水処理剤として、次の薬品と同等以上の効果が期待でき、かつ、甲の承認を得た薬品を甲の指示に従って投入しなければならない。薬品費は、乙の負担とする。

【年間使用量（参考）】

ア 複合清缶剤（ダイクリーン TZ480）	1, 600 kg
イ 蒸気復水系防食剤（ダイクリーンMR-514）	600 kg
ウ ボイラメイト（IS-102）	800 kg
エ 冷却水処理剤（タークリーン V-100、タークリーン NT-673）	380 kg

オ	蓄熱槽防食剤（クリサワー I－607）	75 kg
カ	蓄熱槽スケール防止剤（クリサワー T－225）	40 kg
キ	蓄熱槽緑青防止剤（クリンストリーム C－405）	140 kg
ク	全硬度測定用セット試薬	5 本
ケ	食塩（硬水軟化器再生用）	1, 100 kg
コ	スライムコントロール剤（タワークリーン W－100）	360 kg

（5）1月と7月に全館（エレベータを除く。）の殺菌灯を点検する。交換する場合の費用は甲の負担とする。

（6）乙は、甲の指示に従い設備機器・備品等の補修、移設、状況調査、塗装及び軽作業等をその都度行う。塗料及び塗装用具は、甲の負担とする。

（7）乙は、甲の指示に従いボイラ給水ポンプ用潤滑油を給油すること。潤滑油は、乙の負担とする。

（8）不具合発生内容について、記録を作成すること。

（9）病院内でそれぞれ定められた管理基準に従うこと。

（10）従事者は必要と思われる検診（ツベルクリン反応検査等）を定期的に受診すること。

（11）従事者に対し必要な研修を行い、センター内外の研修等に積極的に参加すること。

（12）契約期間内に次の契約業者に業務内容の全てを遅滞なく引継するものとする。

（13）乙は、地震、雷、大雪その他災害により、停電等の当センター内の設備が停止する事態に陥った場合に速やかに復旧できるよう適時教育訓練を行い、その結果を提出すること。

1.1 待機場所の貸与

甲は、乙が本件業務を履行するために必要な待機場所を貸与するものとする。

（1）貸与する場所は、循環器・呼吸器病センター中央監視室等。

（2）貸与された場所は、本件業務を履行するためにのみ使用するものとする。

（3）貸与された場所等を使用する場合は、甲の指示に従うものとする。

（4）貸与された場所で利用する光熱水費は、必要最小限についてのみ甲が負担する。